

IPS 5007 (27 apr/46)

②

(98)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

REQUEST FORM

1946

INCIDENT - ACCUSED

JUDGE ALBERT WILLIAMS

5007

The undersigned requests the consideration of Document # 5007
(describe):

*Extracts from record of evidence of VFX 61330 Sister V. BULLWINKEL
as to shooting of prisoners (including Army Nursing Sister) at Besha
Island and treatment of POW's at PALEMBANG.*

(Original record of evidence also herewith)

for introduction in evidence (specify purpose) *as to treatment
of POW's (Class B offences)*

Thomas F. Moorman J.C. 6/6

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION
AUSTRALIAN DIVISION

Staff Attorney

27 April 1946

TO THE DOCUMENT OFFICER:

The above document has been approved for processing by you
with changes as follows:

*Stencil & 70 copies
of extracts available.*

Albert Williams

Judge Albert Williams
Document Control Attorney

By _____
Secretary

(31/10/46 - 15/11/46)

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

29 July

, 1946

TO: DUPLICATION CONTROL

5007

Murphy

Attached is Document No. _____ for _____ *90.*

Arrange for reproduction of _____ copies in English and _____
copies in Japanese as follows:

Ditto

MBA

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

DOCUMENT DIVISION

1 Aug. 1946

MIMEOGRAPH SECTION is requested to _____ DOC. NO. 5007
requested by Morgan in _____, No. of pages _____
No. of copies 90

COMPLETED:

Date _____ Signature _____

VAULT:

Date 8/1. Signature BB

This receipt with two copies of this document attached to go to
Room 347, Lt. Alexander.

O. 2. 1. R

SISTER VIVIAN BULLWINKEL

5007

Not used

NO. 1

宣誓ヲ為シタル上

クーパーイヂ氏「貴女ノ名前ハ」...「Vivian Bullwinkel」

「貴女ノ階級ハ」...「中尉」

「ソレテ貴女ノ番號ハ」VFX六一三三〇ト思ヒマスガ」...

「ソウデス」

「ソレテ貴女ノ部隊ハ」2/13 A.G.H. デスカ」...「ソウデス」

「濠洲ヲ去テ登シタハ何時デスカ」...「一九四一年九月二日デス」

「此處カラ何處ヘ行ツタノデスカ」...「シंगाポール」

「シंगाポールニハ何ノ位ノマシタカ」...「私ハシंगाポールニハ約

一ヶ月居リマシタ」

「其處カラ何處ヘ行ツタノデスカ」...「私ハソレカラショホール

バルニ行キ其處ニ十一月カラ一九四二年一月二十五日頃迄

居リ、ソレカラシंगाポール島ニ歸リマシタ」

「其處ニドノ位ノマシタカ」...「一月二十五日カラ二月十二日

迄ノマシタ」

「ソレテ何が起ツタノデスカ」...「二月十日ニ私達ハ「ヴィナー」

ブルック號ニ乗船スル為波止場ニ送ラレタノデス」

「貴女ガシंगाポールニナル間ニ何か戦争犯罪或ハ殘虐

行為が行ハタカ、何か御存ジデスカ。……「知りマセン」

「二月十二日六何事が起リマシタカ。……」二月十二日私達ハ五時頃ヴィナー・ブルック號ニ乗り込ミ出港致シマシタ」

「何處へ行クノカ御存ジデシタカ。……」「イイエ 私達ハバタビヤニ行クノカモ知レナイト聞カサレマシタ」

「海上ニキタノハ長カッタノデスカ。……」私達ハ金曜日ハ一日中航海シ土曜日ノ朝二時十五分過頃飛行機ガ三機頭上ニ現レマシタ」

「ソレハ二月十四日ノコトデスカ。……」ソウデス。ソレテ飛行機ガ船ヲ機銃掃射シ爆撃シ船ハ沈ミ始メタムデス」

「ソノ時ニ貴女方ハ何處ニキマシタカ。……」バンカ海峡ノ陸地カラ約十哩離シテキマシタ。私達ハ金デーノ地方人が先ヅ下船スルノダト言ハレ私達ハ命令ヲ待ツヤウニ言ハレマシタ。地方人が先キニ行クコトニナリ。マトロン（記者註：監督者ノ地位）ドラモンドガ私達ニ行クヤウニ言ヒマシタ。

ソノ時船ノ此場所ニ約十二人ノエスター（註：カトリック教徒婦人）ガキマシタ。私達ハ下船シマシタ。船ノ横ニ沈ミカ、ツタ救命艇ガ一隻アリマシタ。私達ハソレニ乗りツタノデス」

「ソノ時誰カ怪我ヲシタシスターガオマシタカ」ハイ怪我
 マシタシスターガ三人オマシタシスター・ニウス、シスタ
 ー・ワイト、ソレニシスター・サルモンデス
 「大凡何人位ホートニ乗ツタノデセウカ」シスターガ大凡
 十二人モオクテセウカソレニ他ニ三人ト船士官ガ一人
 乗ツテオマシタ」

「他ノ三人トハ誰デスカ」ヨ三人ノ地方人ノ婦人トソノ中ノ一人ノ
 夫ガ乗ツテオクテデス一人ハミニガポールノ教育部ノビ
 ーストニ嬢ガオクテデス」

「十二人ノシスタート二人ノ地方人ノ婦人ト一人ノ男、ソレニ船
 ノ士官ガオクテ譯デスネ」ソノコトデス」

「ソレテトウナリマシカ」私達ハ十時半頃陸ニ着キマシタ
 シテ海岸沿ヒニニ哩程行クト火ガツケテアリマシタソノ
 火ハ前ニ来タホートガツケテオクテデス私達ハ杖ヒラ
 ホノニ其処ヘ行キ、シスター連ヲ火ノ所ヘ連シテ行ク為メ
 テシタソレテ結局真夜中頃ニ私達全部ガ火ノ処ニ着キ
 タノデス其処ニ居ル間ニウイナー・ブルック號ノ和番目
 ノホートガ地方人ノ婦人連ト数名ノシスターヲ連シテ到着
 シマシタ」

船トソノ数名ノシスターノ名前ヲ御存ジデスカハイ
 フルマーナー、左アーウエザー、ハリガン、スチエアート
 ソレニキーツデス

ソレカラドウシマシタカレ。私達ハ火ノ側テ夜ヲ過シ、翌朝助ケヲボメルコトニ決メマシタ。ソコデ一團ノ男ノ人達ガ一ツノ燈台ノ方ニ行キ、オニノ燈台ニオニノ一團が行ツタノデス。ソレヲオニノ一團ハ約四人ノ地方人ノ婦人ト六人ノシスタート一人ノ船ノ士官デ編成サレ情報ヲ得ル爲、更ニ救ヲボメル爲ニ奥地ノ部落ノ方へ行ツタノデス。

「貴女ハ奥地へ行ツタ一團ト一緒ダタノデスカレ。ソウデス。私ハ奥地へ行ツタノデス。」

「ソノ一團ノ人々ノ名前ヲ舉ゲルコトガ出来マスカレ。大部分舉ゲルコトガ出来マス。船ノ士官デアッタ。セツチマン氏ハリガン看護婦、ブリツヂ看護婦、カー看護婦、テート看護婦、ハリス看護婦、私、ロッキー嬢、ハッチニス夫人、ラングドン・ウィリアムス夫人等ガオタノデス。私達が其處ニ居ル時ニハ土民ノ女達ハ私達ニ飲物ヲ呉レマシタガ土民ノ男達ハ食物トカ衣類トカ言フヤウナモノヲ持ツテ行ケルヤウナモノハ何も私達ニヤラナイヨウニ土民ノ女達ニサセタノデス。私達ハ海岸ヘ降りマシタ。一團ハ燈台カラ帰ツテ来マシタガ、モウ一ツノ一團ハ後デ分ツタノデスが捕虜ニナツテオタノデス。」

「貴女方が行ッテ部落ノ名ヲ御存ジテスカ。……」知リマセン
併シソノ部落ハ海岸カラ四哩程奥へ入ッテ所ニアリマシタ。
形勢ハ海岸デ全團ニ敵ヘラレテキマシタ。

「誰ガ皆ニ形勢ヲ教ヘタノデスカ。……」船ノ士官セツゲマン氏
デス。彼ハ形勢ヲ説明シテ日本人ガ島ニキルコト、逃ゲ道ノ
無イコト、島ニ食物ガナイコト、投降スルヨリ外ニ道ハナイ
コト等説明シテクレマシタ。皆ハ之ニ賛成シマシタ。ソノ夜沖
デ砲撃ガアリマシタ。ソシテ二時間後一隻ノ救命艇ガ英砲
兵軍團ノ英人約二十名ヲ乗セテ到着シマシタ。

「ソノ一團トハ連絡ヲトウツノデスカ。……」ハイ。

「ソノ一團ノ中ノ誰カノ名前ヲ御存ジテスカ。……」彼等ノ中
ノ一人ノ名前、キングスレーヲ知ッテキマス。彼等ハ形勢ヲ
聞カサレ、島デ何が起ッタカラ聞カサレマシタガ彼等モ翌
朝投降スルガ一番ヨイト同意シマシタ。

クツ。パイヂ氏「ソノボートハ何人乗りテスカ。……」二十人
乃至三十五人位デス。

「皆シナデハ何人位海岸ニキタデスカ。……」此ノ時迄ニ
男女、子供ヲ入シテ大凡一〇〇人位キタデセウ。

「翌朝ハドウナツメノデスカ。」
 翌朝セツヂマン氏ハ
 日本人ニ来テモラッテ一團ヲ集メテ連レテ行ッテモラウ爲
 ニムントクヘ行キマシタ。彼がホカケテカラ、婦人、母、子、孫ヲシテ升
 タ、アトロシノドラモンドハ地方人ノ婦人マ子供ハ、ニヤンケル
 ノ道ヲソウ沢山歩カナイヤウニ出立タシテ方ガ良イヲセウト提議
 シマシタ。彼等ニテイト云フ支那人ノ医師ガ升マシタガ、日
 本人ハ彼ヲ追跡シ、後ニ彼ハ自殺シマシタ。朝、十時頃、セツ
 ジマン氏ハ約二十人カラ成ル日本人ノ一團ト一緒ニ席ツテ
 来マシタ。彼等ハ男ヲ女カラ分ケテニ群ニシマシタ。船ノ士官
 セツヂマン氏ハ日本人達ニ私達ハ俘虜トシテ投降ス
 ルノダト言ヒマシタガ日本人ハ彼ノ言フコトニハ耳モ藉サナ
 カッタノデス。

閣下「ソノ日本人達ハドシナ服装ヲシテ升マシタカ。」
 皆
 乗馬用ノヨウナカーキ色ノニヤツトズボンヲツケテ、正面
 ニ星ノツイタ小サナ帽子ヲ被リ、皆銃剣ヲ着ケタ銃ヲ持
 ツテ升マシタ。小サナ武器ヲ持ツテ升ルノハ見カケマセンデシ
 タ。指揮官ハホシノ小サナ奴デ他ノ者ニ較べルト非常ニ、キ
 チントコザッパリニタ服装ヲシテ升マシタ。彼ガ着テ升タ服ハ

身体ニ合セテ仕立テタモノ、ヤウデシタ。

「彼ハ何カ徽章ヲ附ケテマシタカ」……「彼ハ刀ヲ持ツテマシタ、後ニテテ私達ハ刀ヲ持ツテキル者ハ將校ト言フコトガ分ツタノデス。」

「彼等ノ名前ハ分ラナイノデスネ」……「分リマセン」

「日本軍ノ何部隊カモ分ラナイノデスネ」……「分リマセン、唯彼等ハバンカニ釣着シタ最初ノ部隊ニ属シテマシタ事ダケハ分ツテマシタ。彼等ハ前日ノ朝到着シタバカリダッタノデス。ト言フノハ私達ノ残りノ人達ハ以テ来テマシタガ、ソレハ現ニ日本人ガ上陸スル前ニ到着シテマシタラデス。」

「日本人ハセツヂマンノ言ニ耳モ務サナカウツト言ハレマシタネ、……ハイ」

「何ニテ風ニ……」日本人ハ彼ヲ押退ケタノデス。

「ソレカラ、何ウナリマシタカ」……「彼等ハ男ノ半分ヲ海岸沿ヒニ岬ノ後方一ロコ碼ノ所テ連シテ行キマシタ。男達ノ内ノ二十五人位デシタセウ。ソレカラ彼等ハ帰ツテ来テ男達ノ残りノ人達ヲ同じ方向ニ連シテ行キマシタ。日本人達ハ五分間乃至ハ十分間位向フニ行ツテマシタと思ヒマス」

「銃火ハ此ノ二人ノ日本人カヲ来タノデスカ。ソレトモ他ノ者カラテスカ。」他カラデス。ソノ人達ハカレコレ二十碼乃至三十碼離レタ木ノ下ニ立ッテオタノデス。

「彼等ノ中ノ何人位テスカ。」「機械銃ハタツタ一挺デタ。彼等ハ列ニテツテオクルヲ。全ク縦横ニ掃射ヲノデス。ソレテ女達ハ次々ニ倒レタリシ。私ハ列ノ端ノ方ニオマタシ。ソレテ一弾ガ私ノ左腰ニ當リ。貫通シテ前方ニ飛出シマシタ。彈丸ノ勢ハ私ヲ水中ニ打テ倒シ私ハ水中ニ横ニナツテオタノデス。私ハ意識ハ失ヒマセシテタ。」

「貴女ハ詠ゲルノデスカ。」「イイエ。」
「貴女ハ水ハ腰迄アツタト言ハレマシタネ。」「ハイ。併シ波ガ私ヲ後へ押し返シタデス。ドナラカト言ヘバ荒カッタデス。」

「貴女ノ仲有テ何人位婦人がオタノデスカ。」「私ヲ入レテ二十三人オマシタ。看護婦ニ二人ニ地方人が一人デス。」
「彼等ハ他ノ婦人や子供ハ何ウシタノデスカ。」「彼等ハ他ノ婦人や子供ハ其儘通り過ギ。ソウシテ自分等ガ帰ルマデ待ツテオクルヤウニ言ヒ残シテ行ツタ。併シ婦人達ハ待テ疲ヒ。歩キ續ケテ日本軍ノ一團ガ追ヒツク迄ニ。」

5007

ムニトクニ着イテ升タケテス。

「貴女ハ意識ヲ失ヒマセンデラヌネ。ソレカラドウナリマシタカ。」

「波ハ私ヲ波打際ニ押シ戻シマシタ。私ハ其處ニ十分

間程横スツテ升マシタ。スルト萬分静マツト思ハレタノデス。

私ハ起キテ坐ツテ見廻シマシタ。人影ハ一ツトシテアリマセン。

ソコデ私ハ立ち上リ、ジヤングルノ中ニ行キ、横ニナリ、二日

間眠ツテ、無意識ニナツタリニテ升マシタ。私ハ大部分ハ醒ツ

テ升タケテス。ト云フハ私ハ時折目ガサメタノツ覺エテ升ル

カラデス。」

「貴女ノ傷ハ痛ミマシタカ。……時々痛ミマシタガ酷クテ

勤ケナイ程デハナカツタノデス。此ノ日ハ水曜日デシタノデヤウ。

ソノ水曜日ニ私ハ水ヲ飲ミニ出テ来タケテス。ソニテ途中

一人ノ英人が私ニ掛ケマシタ。」

「其處ニ水ガアツタト言ハレタケテス。……ハイ、私が撃手タシタ

處カラ十二碼程離レタ所ニ海辺ノ近クニニツノ清水ノ泉

ガアリマシタ。キングスレー。ト云フ名ノ英兵ガヤツテ来

テ私ハ彼ト一緒ニツタケテス。彼ハ胸ノ真中ヲ銃剣デ突キ

刺サレテ居リ又沢山ノ榴散彈デ負傷シテ升テ上搏

部ガ吹き飛ニテ升マシタガソレハ土曜日ノ夜ノ船ノ砲

NO. 10

撃ノ百ニ吹キ飛ニタノデス。彼ノ言ニヨレバ彼ハ戦友ガ
 彼ノ為ニコシラヘテ呉レタ擔架ニ乗セラレテオタノデスガ
 日本兵ガ彼ヲ其處ニ獲ニナツテオル儘銃剣ヲ突
 キ刺シタノデス。

「彼ハ貴女方ノ處カラ連レテ行カレタ一團ニ入ッテオナカッ
 タノデスネ、……ハイ、彼ハ連レテ行カレマセデシタ。日
 本兵ハ彼ヲ後ニ残シタノデス」

「ソレテ彼等ハ擔架ニ横タル彼ヲ銃剣ヲ突キ刺シタノデス
 ね、……ハイ、私ハ彼ノ為ニ出来ルタケノ事ヲレテヤリマシタ。
 彼ハ全ク歩キ廻ルコトが出来ナカッタノデス、ソコテ私ハ前ニ
 行ツタコトノアル部落ニ、モウ一度行クコトニ決メマシタ。私ハ
 其處ヘ引返レテ行ツタノデス、女達ハ私ニ若干ノ米、魚、パ
 イン、アップル等ヲ呉レ、私ハソレヲソノ英人ト分ケ合ツタノ
 デス」

「ソレガ何日ダツタカ分ラナイノデスネ、……」キングスレーハ
 私ガ何日デセウト尋ネマシタラ水曜日ダト私ニ言ヒマシタ。
 射撃ハ月曜日ニ起ツタノデスガ、此ノ日ハ水曜日ダツタノデ
 ス、食物ヲ攝ツテカラハ、キングスレーハ休息モシタノデ
 少し元氣ツキ始メマシタ。其處テ私達ハ投降スルノガ一番

良イコトヲサモナクバ餓死シテシマフカラ投降スルニトニ決メ
 タンデス。私達ハ部落迄行ツタノデス。部落民ハ私達ニ更
 ニ我ラカノ米ヲ呉シマシタ。ソレテ私達ハ翌日ムントクニ行ク
 コトニ決メマシタ。此ノ部落ハ三四哩海岸カラ奥ニ入ッテ
 居リ、ムントクハ四哩奥ノモウツノ部落クツノデス。私
 達ガムントクヘ行ク途中一人ノ日本ノ海軍士官ト一人
 ノ日本ノ兵隊ヲ乗セテ車ガ私達ヲ見ツケテ、ピストルヲ向
 ケテ私達ヲ調べ車ニ乗ル棉ニ命ジテ司令部ヘ連シテ行
 キマシタ。其処ノ隊長ハ私ガドリ位ニシガホールニキタカ、何
 時私達ガシニガホールヲ立ツタカ、船トワツタカ、バンカ
 島ニ来テドリ位ニナルカ、誰ガムントクヘ来ル棉ニ言ツタカト
 言フ棉ニ復向シマシタ」

「日本軍ノ降服迄パレバンニキタリデスカ」……「イ、エ、
 私達ハ收容所ハ五ツ六ツ衰リマシタ。私達ハ最初ノ
 パレバンテハ家ノ中ニキタノデス。各家ニハ二十人乃至三十
 人居リ自炊シタノデス」
 クツパイヂ氏「ソノ家ニ何カ家具トカ寝具トカアリ
 マシタカ」……「イ、エ、家具トカ寝具トカハ私達ガ

行く前ニ皆ニテ掠奪サレテ斗マシタ

「何ニテ食糧ヲ受ケマシタカ」……「米ト野菜ハカリテス」

「衣類ハ何カ出マシタカ」……「若干ノオランダ人ノ居留民カラ出タモノダケデシタ」

「何カ医療上ノ考慮ハ拂ハレタノデスカ」……「イイエ」

「働クコトハ要ホサレマシタカ」……「イイエ 作業隊ハ編成サレナカッタノデス」

「個人ノ所有物ハ尊重サレマシタカ、サレマセンデシタカ」

「……サレマセンデシタカ、彼等ハ見ツケ次第、萬年筆ヤ時

計ヲ掠リマシタ、
斷ト買合ハシカッタカ」
「クツパイデ氏、酒保ハアリマシタカ」……「イイエ」

「手紙ヲ書イタリ、受ケタリスルコトハ許サレマシタカ」……「イイエ」

「日本人ニ敬礼スルコトハ、要ホサレマシタカ」……「イイエ」

「紀律ハドニテ風ニ強制サレマシタカ」……「主ニ脅迫デ」

「ナクルコトガアリマシタカ」……「婦人ノ顔モ可成リナグリマシタ」

「酷イ叩キ方デシタカ」……「ハイ、全ク酷ク打チマシタ、兩頬ニ」

「何カ怪我ハアリマセンデシタカ」……「二人ノ婦人が齒ヲニ

本折ラシ、眼ノ縁ニ黒痣ガ出来マシタ

「衛生ハドウデシタカ」……「普通ノ下水汚毒タラカガ家々ニアリマシタガ、人ガ止ミ過ギテ井テソレデハ向ニ合ヒマセシテシタ」

「水ノ供給ニ付イテハドウデシタカ」……「ドウカラカト云ヘバ之ニカッタノデス。收容所ハ丘ノ上ニ建テラシテ井テ丘ノ上ノ家ハ全然水ヲ得ラレナカッタノデス。私達ハ水ヲ運ヒ上ゲルニハ丘ヲ下リナケレバナリマセシデシタ。『俱樂部』ガ設ケラレタノハ、ソノ收容所ニキル間ダッタノデス。澤山ノ士官ガ俱樂部ヲ始メテ私達ニ其処ヘ来テ貰ヒタイト言ヒマシタガ私達ハ皆ニテ断リマシタ」

閣下「誰ガ其処ヘ来テ貰ヒタイト言ヒマシタカ」……「ソレハ私ガ名前ヲ知ラナイ日本軍ノ士官デシタ」

「ソノ人ヲ認メラシマスカ」……「イエ」

「貴女方ノ中ノ何人位ガ行ク様ニ言ハレマシタカ」……「彼等ハ七、八人望ニダノデス。私達ハ最初行クコトヲ拒絶シマシタ、ソコデ彼等ハ脅迫シタノデス。私達ハ若シ誰カ行クナラ全部行カウト決心シマシタ。彼等ガ俱樂部ヲ開イタ時彼等ハ使ヲヨコシテ私達ニ来ルヤウニ言

ヒマシタノデニ十八人全部行キマシタ。其処へ行キマスト約
 六人ノ日本軍ノ士官ガキテ私達ニ酒ヤ煙草ヲス、メマシタ。
 ガ私達ハソレヲ拒絶シマシタ。彼等ハ彼等同志テ話ヲシ私
 達ハ私達同志テ話ヲシテキマシタ。ソレカラ三十分後ニ私達ハ
 帰ルカラト言ヒマシタ。其ノ中ニ監督ノ男ガ地方人側ノ日本
 人「ミヤチ」ガ私達ガ出ヤウトシタ時私達ニ一言「タイ事
 ガアルカラト言ツテ呼ビトメ。日本人ガ娘達ヲ望ニテアルカ
 ラ娘達ガ四五人後ニ残レバオ前達ノ為ニナルト思フカト
 言ヒマシタ。彼ノ言フニハ食量ハ彼等ヲ通シテ得ラレルノダ
 ト言ツタ。彼ハ陸軍ガ島ノ食糧供給ヲ完全ニオサヘ
 テ居リ自分トシテハソレニ就テハ何ニモ出来ナイト云ヒ
 若シソノ娘達ガ後ニ残ツテ彼等ニ話ヲツケレバオ前達自身ノ
 為ニナルダラウト言ヒマシタ。結局娘達ノ中、四人ガソノコト
 ノ話ヲツケル為ニ進ニテ後ニ残リマシタ。私達ハ立去リマシタ。
 ソレテ後カラ四人モ戻ツテ来テ私達ニ英語ノ話セル医者ガキタ
 コトノ話ヲシマシタ。ソノ医者ハ若シ私達ガ倶楽部へ行カテレバ
 食物ハナクナルダラウト言ツタノデス。娘達ハカマヒマセシ、私達ハ

做死の方ガ益ダト言ヒマシタ。話ハ何時ニナツテモ同じコトヲ
 繰返スガデマス。ソ時日本人ノ所ニ女將トシテ働イテキル支
 那人ノ妻ノ「チヤン」夫人トカ云フ人ガ娘達ニ話シカケテクレ
 マシタ。彼女ハ少シ佛蘭西人ノ血ノ混ツク英國人デマス。彼
 女ハ「ヒニガポール」デ支那人ト結婚シタノデス。マトロン
 ドラモンドガ彼女ニヨクシテキマシタノデ此ノ婦人ハ娘達ニ目ヲ
 カケテクレ。日本人ノ注意ヲ仰ヘ、其ノ間ニ娘達ニ立ツテ
 自分ノ家ヘ帰ルヤウニ言フタノデス。彼女ハソレカラソノ晩ハ日
 本人ト話ラレ翌日欧亜系ノ婦人ヲ知ツテキルノデ日本人ニ
 欧亜系ノ婦人ガ俱樂部ニ来ルト言フ事ヲ話シマシタ。ソレ
 カラハ私達ハ何トモ言ハレナカッタノデス。

「貴女ガ移動シタ一九四三年九月ニハ何が起リマシタカ」

「私達ハ地方人收容所ニ移動シタノデス」

「貴女ハ誰レカ齒ヲ折ラレタト言ハレマシタガ、ソニテ取扱ヲ
 受ケタ人ノ名前ハ誰カ御存ジデスカ」
 「オーラニダ婦人ノ、ゼンニング夫人。彼女ハ又眼ノ縁ニ黒痣ヲツケ
 ラレマシタ。私ハ地方人男子收容所ニキマシタガ山崎」

が收容所長デタ。

クッパイダ氏「其處ノ收容設備ハドウデシカ」……「私達

ハ約五、六十人收容スル長細イ竹ノ小屋ニ井マシタ」

「ソレハ充分デシカ」……「込ミ過ギテハ井マシタガ、ソレ程デ

モナカツタデス」

「不潔デシカ」……「イエ、可成リ清潔デシタ」

衛生関係ハドウデシカ」……「穴鑿キダケデ、

水ガ不足シテ井マシタ、井戸ハ三ツマシタガ乾燥季デ

シメノデ直キニ干上リ、私達ハ水道栓マデ、道路ヲ四分

ノ一哩モ下リテ行キ全收容所ノ炊事ノ水ヲ「バケツ」

デ運ニダリ日本人ノ為ニ彼等ノ風呂ヤ「トシタス」ノ水ヲ充

タサナケトナラナカツタノデス、ソレカラ一方彼等ハ私達ニ

畑ヲ作ラセテ藩ヲ植エサセマシタ、乾燥季デシタノデ

畑ニ水ヲヤラナケレバナリマセシデシタ、運タ水ハ大部分

畑ニ使ハレマシタノデ他方私達ハ水ガ不足シ私達ハ炊

事ヤ飲水ニモコト欠イタノデス、私達ハ毎日風呂ヤ着

物ヲ洗濯スルニ「ポイント」ニ分、一程與ハラシタダケデ

シタ。

「貴女方ハ何時間働イタノデスカ」
 「最初ノ間ハイツモ朝五時ニ出テ七時迄ソレカラ九時カラ十一時マデ、再ビ午後四時カラ五時迄デレタ。ソレハ畑ヲ起ス時百デ其ノ他ニ二時カラ四時ノ間私達ハ何時モ收容所ニ水ヲ運ンテオクテス。」
 「彼等ハ俸給ハ拂ヒマシタカ」
 「イ、エ」
 「彼等ハ畑ノ作物ヲ幾分デモ貴女方ニ呉レマシタカ」
 「「收容所ニオクテ人ノ半分ハ畑ノ作物ヲ貰ヒマシタ。私達ハ「バンカ」島ニ移サレタノデスカ最初ノ一園ハ何時モ貰ヒマセシテタ。併シ後ニ残ッタ人達ハ實際ニ畑ヲ出来タ作物ヲ貰ラカ貰ヒマシタ。」

5007

#5007

SISTER YIVIAN BULLWINKEL

宣禁ヲ爲シタル上、

クーパー代「貴女ノ名前」...「Mirian Bullwinkel」

「貴女ノ階級」...「中尉」

「ソシテ貴女ノ番號」VFX六一三三〇ト云ヒマスガ...「ソウ」

「ソシテ貴方ノ部隊」2/13 A.G.H.デスカ...「ソウ」

「濠州ヲ出發シタルハ何時」...「一九四一年九月」

「此処カラ何処ヘ行ツタル」...「シンガポール」

「シンガポールニハ何ノ位」...「私」

「ニハ約一ヶ月居リマシタ」

#5007

「甚だかろ何処へ行ワタノデスカ。……私ッソシカウジョホシ」

バルニ行キ其処ニ十月カウ一九四二年一月二十五日頃迄

居リ、ソシカウシンガポール島ニ帰リマシタシ

「甚だニドノ位中タノデスカ。……一月二十五日カウ二月十日

迄キマシタシ。

「ソシテ何が起ツタノデスカ。……二月十日ニ私達ハヴィチー!

ブルックヲ脱ニ乗船スル局波止場ニ送ラシタノデス。

「貴女ガコシカポールニ井ノ間ニ何カ戦争犯罪或ヒハ

残虐行為ガ行ハシタカ、何カ御存ジデスカ。……

「知リマセン」。

#5007

「二月十日ニ何事が起リマシタカ。...」二月十日私達

ハ五時頃グイナールブルック號ニ乗り込ミ出港改

シマシタ。

「何処へ行くノカ御存ジテシタカ。...」イ、エ、私達ハ

バタビヤニ行クノカモ知シテイト聞カサシマシタ。

「海上ニサタノハ長カウシテスカ。...」私達ハ金曜日ハ一日

中航海シ土曜日朝二時十五分過境飛行機

ガ三機頭上ニ現レシタ。

「ソレハ二月十四日ニト、テスカ。...」ソウテス。ソレテ飛行機

ガ船ヲ機銃掃射シ、爆撃シ、船ハ沈ミ始メ

タノテス。

「ソノ時ニ貴世方ハ何処ニオマシタカシ。……バンカ海峡

テ陸地カウ約十哩離シテオマシタ。

私達ハ全テ、

地方人が先ヅ下船シ私達ハ命令ヲ待ツヤウ。

(スルダト言ハレ)

ニ言ハレマシタ。地方人が先ニ行ク事ナリ、

マトロシ「記者註・監督者地位」ドラモンドガ

私達ニ行クヤウニ言ヒマシタ。ソノ時船ノ此

ノ場所ニ約十二人ノシスター「註・カトリック」

教徒婦人」がオマシタ。私達ハ下船シマシタ。

船ノ橋ニ沈ミカニツク救命艇ガ一隻アリマシタ。

#5009

私達ハソレニ乗ツタヘテス。

「ソノ時誰カ怪我ヲシタシスターガキマシタカ。……ハハ。

怪我ヲシタシスターガ三人キマシタ。シスター！

ニウス、シスター！ウイト、ソレニシスター・サルモン

デス。」

「大凡何人位ボートニ乗ツテキタセウカ。……」

「シスター！が大凡十三人キマシタセウカ、ソレニ

他ニ三人ト船ノ士官ガ一人乗ツテキマシタ。

「他ノ三人トハ誰デスカ。……」三人ノ地方人ノ婦人

トソノ中ノ一人ノ夫ガ乗ツテキタムデス。一人

#5007

#5007

ハミニガポールノ教育部ノビーストニ懐ジツ

タノテス。

ツナニ人ノシスタート二人ノ地方人ノ婦人ト一人ノ

男、ソレニ船ノ士官ガ井タ譯ヲスネシ。ソノ

デス。

ソシテドウナリマシタカ。……私達……十時半頃陸

ニ着キマシタ。ソレニ海峽沿岸迄ニ

唯程行クト火ガツケテアリマシタ。ソノ火ハ

前ニ来タボートガツケテ井タノデス。私達

ハ救ヒラボトニ其処ヘ行キ、シスター達ヲ救ヒ

#5107

ク為メテシタ。

所へ運シテ行キタル也。ソシテ結局真夜中

頃ニ私達全部が火ノ処ニ着タリテス。其処ニ

居間グイナールブルツク號ノオミ番目ノボートが地

人ノ婦人達ト数名ノシスターヲ連シテ到着シ

マシタ。

閣下「ソノ教名、ニスターリ名前ヲ御存ジテスカ。」「ハイ、

フアムマーナー、フエアールウエザート、ハリガン、スチユアート、

リシニキーツデス。」

ソシカラドウシマシタカ。」「私達ハ火ノ側ヲ夜ヲ過

シ。翌朝助テテホタルコトニ決メマシタ。ソコで一團

#5007

ノ男ノ人達ガツノ燈台ノ方ニ行き、オニノ燈台ニハ

オニノ一團が行ワタリテス。ソコテオニノ一團ハ

約四人ノ地方人婦人ト六人ノコスタート一人ノ

船ノ士官デ編成^{サレ}●情報ヲ得ル爲更ニ枚ヲ

ボメル爲ニ奥地ノ部落ノ方へ行ワタムテス。

「貴女ハ奥地へ行ワタ一團ト一緒ダワタムテスカ。ソウ

デス。私ハ奥地へ行ワタムテス。」

「ソノ一團ノ人々ノ名前ヲ尋ゲルコトが出来マスカ。」

答ゲルコト

士官デアツタ

「大部分~~が~~が出来マス。船~~員~~セツゲマン

氏ハリガン看護婦、ブリツチ看護婦、カー看護

#5007

婦、テート看護婦、ハリス看護婦、私、ロウシー

嬢、ハッチニス夫人、ラングドン、ワイリアムス夫人

私達ハ其所ニ居ル時ニハ

等ガキターテス、~~其~~土民ノ女達ハ私達ニ飲物

ヲ与レマシタガ土民ノ男達ハ~~其~~食物トカ衣類トカ

言ッヤリナモ~~レ~~テ~~其~~持ッテ行ケルヤウナモ、ハ何モ

(ニ土民ノ女達ニ)

私達ニヤラナイヨウニ~~其~~井セタノテス。私達ハ

海岸ヘ帰りマシム。一團ハ燈台カラ帰ッテ来ヌ

シタガスウ~~ノ~~一團ハ後デ分ッタルテスガ捕虜

ニテ~~テ~~キタノテス。

貴セ方が行ッテ~~其~~部族ノ名ヲ御存ジテスカ、~~其~~知

#5007

リマセン。併しソノ部露ハ海岸カラ四哩程奥へ
 所ニアリ
 入つ~~所~~マコト。形勢ハ海岸デ全圍ニ敵ハ
 ラレテマコト。

「誰カ皆ニ形勢ヲ教ヘタルテスカ。……」
 船~~セツ~~セツガマン
 士官

代テス。結ハ形勢ヲ説明シテ日本人ガ島ニ

キハエト逃ゲ道ノ無キコト、島ニ食物ガナクコト、

投降スルヨリ外ニ道ハナクコト等説明シテク

レマコト。皆ハ之ニ賛成シマコト。ソノ夜沖デ

砲撃ガアリマコト。ソレテ二時間後一隻ノ

救命艇ガ英砲兵軍團ノ英人約二十名ヲ乗

セテ到着シマシタ

ソノ團トハ連絡ヲトワサレテスカ。……ハイ。

ソノ團ノ中ノ誰カノ名前ヲ御存ジテスカ。……

結算ノ中ノ一人ノ名前。キングスレーヲ知リ

テオマス。結算ノ形勢ヲ聞カサレ、島デ何が

起ツタカラ聞カサレマシタガ、結算を翌朝投

降スルノガ一番ヨイト同意シマシタ

クワバインヂ氏、ソノボートニ何人乗リテスカ。……

二十人乃至二十五人位デス。

皆ニオテハ何人位海岸ニオタレテスカ。……此ノ

#5007

#5207

男・女子供ヲノレテ 100

時迄ニ ~~本~~ 大凡 人位ナクナ

セウ。

羽立朝ハドウナツタムデスカ。... 羽立朝セツゲマン

代ハ日本人ニ来テモウツテ 團ヲ集メテ運シ

テ行クテモウリ為ニムントクヘ行キマコト。

結が出カケテカウ、婦人ノ世話ヲシテナク、

アトロシノドラモシドハ地方人ノ婦人ヤ子供

ハジヤニゲンノ道ヲソウ次山歩カナイヤウ

ニ出カシタ方が在イテセリト提議シマシ

ク。 経等ニハキイト言フ支那人ノ医師ガ

#5007

平マニタが日本人の彼を追跡し、後、彼が自

殺こマニタ。朝、十時頃セウゲマン代が彼に

十人から成る日本人の一團と一緒に帰つて来

マニタ。結果、男ヲセカウ命ケテ二群マニタ

マニタ 船員セウゲマン代は日本人達ニ私達ハ

俘虜トシテ投降シヤウトマニタノダト言ヒ

マニタが日本人の彼ノ言フ事ニ身ヲ

マニタサナカウマニタス

閣下「ソノ日本人達ハ何ニテ服装マニタマニタ

乗馬用ノヨウナ

カ。マニタ皆カーキ色ノマニタトマニタマニタマニタ

#5007

★ズボンヲウケテ、正面ニ星ノワビタ小サナ帽子

ヲ被リ、皆銃剣ヲ着ケタ銃ヲ持ッテキマシ

タ。小サナ武器ヲ持ッテキルノハ見カレマセン

デシタ。指揮官ハホシノ小サナ奴デ他ノ者ニ較ビ

ト非常ニキチントユザツバリニシテ服装ヲシテ

キマシタ。彼ガ着テキタ服ハ身体ニ合セテ

仕立タモリ、ヤウデシタ。

「彼ハ何か徽章ヲ附ケテキマシタカ。……」
「彼ハ」

刀ヲ持ッテキマシタ。後ニテ私達ハ刀ヲ

持ッテキル者ハ持校ト云フコト

が分つたので。

「彼等、~~自分~~名前、分らないです。」

「分りません」

「日本軍、何部隊か分らないです。」

「リマセン。唯彼等、バンカ到着した最初、

部隊に属して、事がない分らないです。」

彼等、前日、朝到着したばかりだったので、

「ト云う、私達、女達、残り、人達」

「彼等、来たので、ソレ、現に日本人が上陸す

る前に到着して、事がないです。」

#5007

05007

日本人ハセツケマシンノ言ニ耳ヲ藉サシカウト
言ハシマシタネ。ハハ。

押退ケタ

「何ニテ風ニ。ハハ」日本人ハ結ヲ~~推~~トテ
ス。」

「ソレカウ。何ウナリマシタカ。ハハ」
結等ハ第一半

分ヲ海峽沿ヒニ岬ノ後方¹⁰⁰碼頭~~連~~テ行

キマシタ。男達ノ内ノ二十五人位デシタネウ。

ソレカウ結等ハ歸ツテ来テ男達ノ残リノ人達

ヲ同じ方向ニ連ヒテ行キマシタ。日本人達ハ

五分間乃至十分間位向フニ行ツテ升タト思ヒマス。

#5009

ソレカウ綾茅ハ歸ツテ来テ私達ノ正電ニ腰ヲ
下シ銃ヤ銃剣ヲ掃除シマシム。二人ノ男ガ
逃ゲマシム。ソレハ未人エリワラシヤーマン代ト
英海軍ノ下士官 ロイド代テス。

「日本人達が向フニ行ッテキル間ニ何か銃声ガ聞
エマシムカ。……」ソノ方向カウ幾ツカノ銃声ガ
聞エマシム。」

「綾茅ガ歸ツテ来シ時、ソノ銃剣ガドンナニテキ
タカ御気付キニナリマセン、テシムカ。……」
「イ、エ、綾茅ハ銃剣ヲボロ片ヤ平拭テ、拭ツテ平タノテ

ス。

「何ノ位遠クニ果達ニ連シテ行カシタムトスカ。」

「~~一~~一〇〇〇
碼」。

「何か叫ビ聲が聞エマシタカ。」「イ、エ」。

「銃声ハ何處デシタカ。」「銃声ハ續テ様ダ

ツタムデス。數ヘマセデシタ。ソシカウ御尋ニ歸

ツテ来テ私達、正面ニ坐リ銃ト銃剣ノ掃除

カ終ルト迄午上リ、指揮官ガ私達ニ海ノ方

ヘ行ケト云ツタヤリデシタガ更ニ私達ヲ海ノ方

様

ニ押シヤルニ二人ノ日本人ヲマコシマシタ。

#5009

#5007

私達ハ海ノ方ヘ行ッテ水ノ中ヲ歩キ續テ瞬マデ
ハイッタ時ニ銃ヲ私達ヲ機銃デ縦横ニ掃
射シ始メタデス。

「銃尺ハ此ニ人ノ日本人ノ方カヨ来タルテスカ、ソレ
トモ他ノ者カヨテスカ。」、他カラテス。ソノ人達
ハカレユレニ十碼乃至三十碼離レタ木ノ下ニ立ッ
テサタノデス。

「銃等ノ中ノ何人位デスカ。」、「機銃ハタツタ一挺デ
シカ。銃等ハ列ニサツテサトルヲ全ク縦横ニ掃射シ
タノデス。ソシテ女達ハ次々ニ倒レシマシカ。私ハ列

MS007

ノ端ノ方ニオマシタ。ソコニテ一弾ガ私ノ左胸ニオリ。

貫通シテ前方ニ飛び出シマシタ。弾丸ノ勢ハ

私ヲ水中ニ打テ倒シ私ハ水ノ中ニ横ニシタ。

テオタノデス。私ノ意識ハ失ヒマセシテシタ。

「貴女ハ泳ゲルノデスカ。……」イ、エ。

「貴女ハ水ハ腰迄アツタト言ハシマシタネ。……」ハ、イ。

併シ波ガ私ヲ後ヘ押シ返シタムデス。ドキウカ

ト言ヘバ蒸カワタムデス。」

「貴女ノ仲間ニハ何人位婦人がオタムデスカ。……」私

ヲ入レテ二十三人オマシタ。看護婦ガ二人

＝地方人か一人デス。

「彼等、他ノ婦人ヤ子供ニ何ウシタルデスカ。」「彼等、」

其儘通り過ぎ、ソウシテ

他ノ婦人ヤ子供ニソレ連行せし自分等が帰ル

ニ残シテ行ツタ。

迄待つテキルヤウニ云々。併し婦

人達ハ待チ疲シ、歩キ續テテ日本軍ノ一團

ガ追ヒツク迄ニハムントウニ着イテオタルデス。

「貴方ハ意識ヲ失ヒマセシテシタネ。ソレカラドウ

ナリマシタカ。」「波●私ヲ波打際ニ押し戻シ

マシタ。私ニ其処ニ十分間程横ハワテオマシタ。スレ

ト萬事静マツタト思ハシタルデス。私ハ起キテ

#5607

#15067

坐つて見廻しニコニコ。人影ハワトこてアリマセン。

ソニテ私ハ立ち上り、じやこグルノ中ニ行き横ニ

ナリ。二日間眠つたり無意識ニナつたりこてナ

ニコニコ。私ハ大部分ハ睡つてナリトデス。ト云フ

ノハ私ハ時折目がサメタノラ覺エテナルカラテス。

貴女ノ傷ハ痛ミニニコニコカシ。ト云フ時々痛ミニニコニコガ。

酷クテ動ケナイ程デハナカワタノデス。此ノ日ハ

水曜デシタデセウ。ソノ水曜日ニ私ハ水ヲ飲ミ

ニ出テ来ヲノデス。ソコテ途中ニ一人ノ英人が私

呼ビ掛ケマシタ。

ニ歌ガ全園ニナリ。

#5007

其処ニハ水がアツタト云ハレルデスネ。ハハハハハハ私

ガ殿平タシタ處カラ十ニ碼程離シタ所ニ海辺ノ

近クニニツノ清水ノ台水がアリマシタ。キニグスレー

ト云フ名ノ英兵リカヤツテ来テ私ハ彼ト一緒ニ十

ツタノデス。彼ハ胸ノ真中ヲ銃劍デ突キ刺サ

レテ居リ又澤山ノ榴散弾デ負傷シテキテ

上膊部カ吹き飛ンデキマシタガソレハ土曜日の

夜ノ船ノ砲撃ノ間ニ吹き飛ンタノデス。彼ノ名

ニヨシハ彼ハ戦友ガ彼ノ為ニコシラヘテ呉シタ擔架木

ニ乗セラシテキタノデスガ日本兵ガ彼ヲ其処ニ

#5007

横ニナツテキル儘銃剣ヲ突キ刺シテ入ル

彼ハ貴女方ノ處カウ運シテ行カシテ一團ニ入ッテ

キナカウタレテスネ。ハイ、彼ハ前~~進~~連シテ行カシセン

~~キ~~デシタ。日本兵ハ彼ヲ後ニ残シテ入ル

ソコテ彼等ハ擔架横ハル彼ヲ銃剣ヲ突キ刺シ

タノデスネ。ハイ。私ハ彼ノ爲ニ出来ル

ケノ事ヲシテヤリマシタ。彼ハ金々歩キ廻ル

ガ出来ナカウタレテス。ソコテ私ハ前ニ行ッテ

アノ部ヲ落ニモウ一度行ッ事ニ決メマシタ。私ハ

甚処ヘ引返シテ行ッタ。女達ハ私ニ若干ノ米、菓子

#5007

アップル等ヲ見レ私ハソレヲソノ英人ト分ケ
念ウターデス。

ソレガ何日ダツタカ分ラナクイテスネ。……キングスレー

ハ私が何日デセウト尋ネマシタラ水曜日ダト

私ニ云ヒマシタ。射撃ハ月曜日ニ起ツターデス

此ノ日ハ水曜日ダツターデス。食物ヲ攝フテカ

ラハキングスレーハ休息モシタムトテ少しシテ

気ヅキ始メマシタ。其処テ私達ハ
投降スルノガ番デ

サマナクバ~~餓~~シテシマフカラ投降スルコトニ
決メタ

~~私達~~ノテス。私達ハ部落ニ入リ

★行つたデス。~~シ~~ 部落民ハ私達ニ更ニ
幾ラカ来ウ案シマシタ。ソシテ私達ハ翌日ムントウ
ニ行クコトニ決マシタ。此ノ部落ハ三回哩海岸
カラ奥ニ入ツテ居リ。ムントウハ回哩奥ノセウツノ
部落ガワタリデス。私達がムントウヘ行ク途中

●一人ノ日本ノ海軍士官ト一人ノ日本ノ兵隊ヲ
乗セタ車ガ私達ヲ見ツケ、~~私達~~ピストルヲ向
ケテ私達ヲ調へ、車ニ乗ル様ニ命ジテ司令部
ヘ連レテ行キマシタ。甚处ノ隊長ハ私ガトノ位
シニガポールニオシカ、何時私達がシニガポールヲ

#5607

#15007

ハドウナツタカ

ミツタカ。船ヲ修リ起リカ。バシカ島ニ来テドノ

位ニテハカ。誰ガムシトクヘ来ニ様ニ云ツタカト言

フ様ヲ賃岡ヲシマシタ

、、、、、

日本軍ノ降服迄パレンバンニキタノデスカ。、、、、、

私達ハ收容所ハ五ツニツ変リマシタ。私達ハ

最初ノパレンバンデハ家ノ中ニキタノデス。各家

ニハ二十人乃至三十人居リ自炊シタノデス。

クワパイヂ氏「ソノ家ニ何カ家具トカ寝具トカア

リマシタカ。、、、、、イ、エ。家具トカ寝具トカハ

#5007

私達が行く前ニ必自ニテ掠奪サシテ平マシム。

「何ニテ食糧ヲ受ケマシムカ。」
「未ト野草バカリ

デス。」

「衣類ハ何カ出マシムカ。」
「若干ノオランダ人」

居留民カウ出タモノダケデシム。

「何カ医療上ノ考慮ハ拂ハレタレカ。」
「イ、エ。」

「働クコトハ要ホサシムシムカ。」
「イ、エ。作業

隊ハ編成サシテカフタレデス。

「個人ノ所有物ハ尊重サシムシムカ。」
「サシマセンデシム

カ。」
「サシマセンデシム。結果ハ見ツケ次カ

萬年筆や時計ヲ取リマシタ。掠

閣下ヲ買ハウトマカシタカシ。シナカウタカシ。イイエ

クワバイ千代酒保ハアリマシタカシ。イイエ。

手紙ヲ書イタリ受テタリスルコトハ許サシマシタカシ。

イイエ。

日本人ニ敬礼スルコトハ要ムサシマシタカシ。イイエ。

「紀律ハドシナ風ニ強制サシマシタカシ。主ニ脅迫デ。

ナクルコトガアリマシタカシ。婦人ノ顔モ可成リマシ



タ。

「酷イ即キオデシタカシ。ハイ。マワタラ酷ク打

#5007

クマコト。 両頬ニ。

「何か怪我ハアリマセンデシタカ。」「二人ノ婦人が

歯ヲ一ニ本折ラシ。 眼ノ縁ニ黒痣ガ出来

マシタ。

「衛生ハドウデシタカ。」「普通ノ下水消毒

タシクガ家々ニアリマシタガ。 人が込ニスギテ

ソシテハ同ニ合ヒマセンデシタ。

「水ノ供給ニツイテハドウデシタカ。」「ドケラカト

言ハドクエシカワタテス。 收容所ハ丘ノ上ニ

建テラシテナテ。 丘ノ上ノ家ハ全然水ヲ得

#5007

#5009

ラシテカワタノデス。私達ハ水ヲ運ビユゲルニ

丘ヲ下リテケシバトリマセンデシタ。俱樂部カ

設ケラシタノハソノ收容所ニ升ル同ガツタノ

デス。澤山ノ士官が俱樂部^部ヲ始メテ私達ニ其処

ヘ来テ~~来~~世見ヒタイト云ヒマシタガ私達ハ

皆ニナ断リマシタ。

閣下「誰が其処ヘ来テ世見ヒタイト云ヒマシタカ。」

「ソレハ私ガ名前ヲ知ラナイ日本軍ノ士官

デシタ。

ソノ人ヲ認メラシマスカ。」「イ、エ。」

45007

「貴女方の中ノ何人位が行く様ニ言ひし事ニシテ也。」

「……」結算ハ七八人望シガレテス。私達ハ最

初行クコトヲ拒絶シマシタ。ソコデ結算ハカ

迎シタレテス。私達ハ若シ誰カ行クテラ全部

行カウト決心シマシタ。結算ハ俱樂部ヲ開

シタ時結算ハ使ヲモシテ私達ニ来ルヤウニ言

ヒマシタレテ二十八人全部行キマシタ。其処ハ

行キマスト約言人ノ日本軍ノ士官ガオテ私

達ニ酒ヤ煙草ヲスヘメマシタガ私達ハソレヲ

拒絶シマシタ。結算ハ結算同志デ旅ヲシ、私

#5009

達ハ私達同志デ話ヲシテソシカラ三十分後ニ

テキマシタ。

私達ハ歸ルカラト云ヒタシタ。其ノ中ニ監督ノ

男デ地方人側ノ日本人「ニヤチ」ガ私達ガ出ヤ

ウトシタ時私達ニ言ヒタイエトガアルカラト云フテ呼

娘達ヲ

ビ止メ、日本人ガ望ムデ耳ルカラ娘達ガ四五人後ニ残シ

バオ前達ノ為ニナルト思フガト云ヒマシタ。

彼ノ言フニハ食量ハ絶等ヲ通シテ得ラレ

ズオ前達トシテ後ニ強ル娘達ニ執

ノダト云ツタ。

~~前達ハ食糧モ甚ク乏ルカタリマシタ。~~ 然ハ

陸軍ガ島ノ食糧佐給ヲ完全ニオサヘテ居

リ自今トシテハソレニ就ヒテハ何ニモ出来ナイ

#5007

ト言ヒ、若しソノ娘達が後ニ残リテ居等ニ

詠ラツケレバオ前達自身ノニ為ニナルダウリト

言ヒマコトヲ。結局娘達ノ仲四人ガソノコトノ

詠ラツケル為ニ道ニテ後ニ残リマコトヲ。私達ハ

立去リマコトヲ、ソレテ後カヨ四人モ戻リテ来テ

私達ニ英語ノ詠セル運者ガキタフトノ詠ヲ

こまこト。ソノ運者ハ若し私達が倶楽

部へ行カサケレバ食物ハナクナルダウリト

言ツタテス。娘達ハカマヒマセン、私達ハ

シタカカ益ヲ

キ餘死~~ん~~ト言ヒマコトヲ。詠ハ何時ニナ

#5009

テモ同ジコトヲ繰リ返スダケデシタ。ソノ時日本

人ノ所ニ女將トシテ働イテキル支那人ノ妻ノ

「キヤン」夫人トカ言ッ人が娘達ニ話シカケテクレ

マシタ。彼女ハサシ佛蘭西人ノ血ノ混

英人^(田)デシタ。彼女ハ「シ」ガポール^(田)デタ即人ト結婚

シタノデス。マトロソンドラモソドが彼女ニヨリシテ

オマシタノデ此ノ婦人ハ娘達ニ目ヲカケテクシ、日

本人ノ注意ヲ抑ヘ、其ノ間ニ娘達ニ立ッテ

自分ノ家へ歸ルヤリニテウタムデス。彼女ハ

ソレカラソノ晩ハ日本人ト話シテ翌日^(田) 離世^(田)

#5007

ヲ知ツテキルノデ
ノ婦人ヲトモ知リキ日本人ニナリキレノ婦

人が倶楽部ニ来ルト言フ事ヲ深クシタ。ソシカニハ
私達ハ何トモ言ハレナカフターデス。

.....

貴女が移動シタ一九四三年九月ニハ何が起リマ
シタカ。.....「私達ハ地方人收容所ニ移動シタ
ノデス。」

貴女ハ誰カ出ヲ折ラシタト言ハレマシタガ、ソナ
ク取扱ヲ受ケタ人ノ名前ハ誰カ御存ジデスカ。
.....「オランダ婦人ノウエニニグ夫人。彼女

#5007

ハ又眼ノ縁ニ黒痣ヲツケラシメシム。私ニ地方

人男子收容所ニオモシクガ山崎ガ收容所

長デシム。

クツパイヂ氏「甚ク父ノ收容設備ハドウデシタカ。」

「私遠ハ約五・六十人收容スル長細イ竹ノ十段

ニ井マシタ。」

「ソレハ此レ命デシタカ。」「込ニ過ギテハ井マシタガ

ソレ程デモ十カツタデス。」

「不潔ボシタカ。」「イ、エ。可成リ清潔デシム。」

「衛生関係ハドウデシタカ。」「用イタ穴ニスル

穴ヲ掘ラテアルカヤ

#5007

ダケデ ~~水~~ 水が不足して井マコシ 井戸ハ

三ツアリマシタガ 乾燥季デシタノテ直キニ干上

リ、私達ハ水通栓スデ道路ヲ ~~非~~ 四分一哩

モ下リテ行キ 金收容所ノ炊事ノ水ヲバケツ

テ運ニダリ 日本人ノ爲ニ紙等ノ風呂ヤトシグス

ノ水ヲ充タササケレバナラナカワタノテス。ソシカウ

畑ヲ作ラセシ

一方 笹等ハ私達ニ ~~集~~ 蓄ヲ植エサ

畑ニ

セマコシ。 乾燥季デシタノテ ~~水~~ 水ヲヤラサケレ

畑ニ

バトリマセンデシタ。 運ニダ水ハ大部分 ~~使~~ 使ハ

シマシタノテ 他方私達ハ水が不足シ 私達ハ

#5607

炊事や飲水ニモト欠イタリデス。私達ハ毎日

風呂ヤ着物ヲ洗濯スルニ一^ハパイニト三^ハ分一程

兵ヘラシクテテコト。

「貴女方ハ何時間働イタリテスカ。」「最初ノ間

ハイツモ朝五時ニ出テ七時迄ソシカラ九時カラ十一

時迄。再び午後四時カラ五時迄デシタ。ソレ^ハ煙

ヲ起ス時間デ其ノ他ニ二時カラ四時ノ間私達ハ何

時モ收容所ニ水ヲ運ニテ升タリテ匹。

「彼等ハ倅然^ハハ拂ヒマシタカ。」「^ハイ、エ」。

「彼等^ハ煙^ノ作^ル物^ヲ貴女^ガ口^ニ入^レシマシタカ。」「

収容所^{ニヤ多人}平合ハ~~煙~~煙ノ作物ヲ世襲シマシタ。

私達ハバニカ島ニ移サシタ^ノ2カ^ノ最初ノ一團

ハ何モ世襲シマセシデシタ。併ニ後ニ残リタ人

達ハ實際ニ~~煙~~煙テ出来タ作物ヲ幾ラカ世襲シマシタ。

#5009

「貴女方ハ何時向働イタノデスカ」……「最初ノ向ハイ
 ツモ朝五時ニ出テ七時迄ソレカラ九時カラ十一時マデ、
 再ビ午後四時カラ五時迄デシタ。ソレハ畑ヲ起ス時デ
 デ其ノ他ニ二時カラ四時ノ向私達ハ何時モ收容所ニ
 水ヲ運ンデオタノデス。」

「彼等ハ俸給ハ拂ヒマシタカレ……「イ、エ」」

「彼等ハ畑ノ作物ヲ幾分デモ貴女方ニ呉レマシタカレ」

……「收容所ニオタ人ノ半分ハ畑ノ作物ヲ貰ヒマシタ。私達
 ハ「パンカ」島ニ移サレタノデスが最初、一團ハ何も貰ヒ
 マセシデタ。併シ後ニ残ッタ人達ハ實際ニ畑ヲ出来タ
 作物ヲ幾ラカ貰ヒマシタ。」

ガ收容所長デタ。

クツパイデ氏「其處ノ收容設備ハドウデシタカ」……私達

ハ約五、六十人收容スル長細イ竹ノ小屋ニオマシタ。

「ソレハ充分デシタカ」……「込ミ過ギテハオキマシタガ、ソレ程デ
モナカツタデス」。

「不潔デシタカ」……「イエ、可成リ清潔デシタ」。

「衛生関係ハドウデシタカ」……「開イタ穴ニシテシタケデ、
水ガ不足シテオキマシタ。井戸ハ三ツアリマシタガ乾燥季デ

シタノデ直キニ干上リ、私達ハ水道栓マデ、道路ヲ四分

ノ一哩モ下リテ行キ全收容所ノ炊事ノ水ヲ「バケツ」

デ運ニダリ日本人ノ為ニ彼等ノ風呂ヤ「トシケス」ノ水ヲ充

タサナケルナラナカツタノデス。ソレカラ一方彼等ハ私達ニ

畑ヲ作ラセテ藩ヲ植エサセマシタ。乾燥季デシタノデ

畑ニ水ヲヤラナケレバナリマセンデシタ。運ニダ水ハ大部分

畑ニ使ハレマシタノデ他方私達ハ水ガ不足シ私達ハ炊

事ヤ飲水ニモコト欠イタノデス。私達ハ毎日風呂ヤ着

物ヲ洗濯スルニ「バイント」ニ分ノ一程與ハラレタダケデ

シタ。

俄死の方か益ダト言ヒマシタ。話ハ何時ニナツテモ同ジトヲ
 繰返スガクデシタ。ソノ時日本人ノ所ニ女將トシテ働イテキル支
 那人ノ妻ノ「ナヤン」夫人トカ云フ人ガ娘達ニ話シカケテケレ
 マシタ。彼女ハ少シ佛蘭西人ノ血ノ混ツタ英國人デシタ。彼
 女ハ「シガポール」デ支那人ト結婚シタノデス。マトロン・
 ドラモンドガ彼女ニヨクシテキマシタノデ此ノ婦人ハ娘達ニ目ヲ
 カケテケレ、日本人ノ注意ヲ抑ヘ、其ノ間ニ娘達ニ立ツテ
 自分ノ家ヘ帰ルヤラニ言フタノデス。彼女ハソレカラソノ晩ハ日
 本人ト話ヲシ翌日改更系ノ婦人ヲ知ツテキルノデ日本人ニ
 改更系ノ婦人ガ俱樂部ニ来ルト言フ事ヲ話シマシタ。ソレ
 カラハ私達ハ何トモ言ハレナカッタノデス。

「貴女ガ移動シシ一九四三年九月ニハ何が起リマシタカ」
 「私達ハ地方人收容所ニ移動シタノデス」
 「貴女ハ誰レカ齒ヲ折ラシタト言ハレマシタガ、ソノナ取扱ヲ
 受ケタ人ノ名前ハ誰カ御存ジデスカ」。「オーラニダ婦
 人ノ」ウエンニダ夫人。彼女ハ又眼ノ縁ニ黒痣ヲツケ
 ラレマシタ。私ハ地方人男子收容所ニキマシタガ山崎

ヒマシタノデニ十八人全部行キマシタ。其処へ行キマスト約
 六人ノ日本軍ノ士官カキテ私達ニ酒ヤ煙草ヲス、メマシタ。
 ガ私達ハソレヲ拒絶シマシタ。彼等ハ彼等同志ヲ話シテ私
 達ハ私達同志ヲ話ヨシテキマシタ。ソレカラ三十分後ニ私達ハ
 帰ルカラト言ヒマシタ。其ノ中ニ監督ノ男ヲ地方人側ノ日本
 人「ミヤチ」ガ私達ガ出ヤウトシタ時私達ニ、一言ニタイ事
 ガアルカラト言ツテ呼ビトメ、日本人ガ娘達ヲ望ニテアルカ
 ラ娘達ガ四、五人後ニ残レバオ前達ノ為ニナルト思フカト
 言ヒマシタ。彼ノ言フニハ食量ハ彼等ヲ通レテ得ラレルノダ
 ト言ツタ。彼ハ陸軍ガ島ノ食糧供給ヲ完全ニオサヘ
 テ居リ自分トシテハソレニ就テハ何ニモ出来ナイト云ヒ
 若シソノ娘達ガ後ニ残ツテ彼等ニ話ヲツケレバオ前達自身ノ
 為ニナルダラウト言ヒマシタ。結局娘達ノ中、四人ガソノコト
 ノ話ヲツケル為ニ進ニデ後ニ残リマシタ。私達ハ立去リマシタ。
 ソレテ後カラ四人モ戻ツテ来テ私達ニ英語ノ話セル医者ガキタ
 コトノ話ヲシマシタ。ソノ医者ハ若シ私達ガ倶楽部へ行カテレバ
 食物ハナクナルダラウト言ツタノデス。娘達ハカマヒマセン。私達ハ

本折ラレ、眼ノ縁ニ黒痣ガ出来マシタ。

「衛生ハドウデシタカ」……「普通ノ下水汚毒タラカガ家々ニ
アリマシタガ、人ガ止ミ過ギテキテ、ソレデハ向ニ合ヒマセシテ
シタ。」

「水ノ供給ニ付イテハドウデシタカ」……「ドウカラカト云ヘバ之
ニカッタノデス。收容所ハ丘ノ上ニ建テラシテキテ丘ノ上
ノ家ハ全然水ヲ得ラレナカッタノデス。私達ハ水ヲ運ビ上
ゲルニハ丘ヲ下リナケレバナリマセンデシタ。「倶楽部」ガ設ケ
ラレタノハ、ソノ收容所ニキル間ダッタノデス。澤山ノ士官
ガ倶楽部ヲ始メテ私達ニ其処ヘ来テ貰ヒタイト言
ヒマシタガ私達ハ皆之ヲ断リマシタ。」

閣下「誰ガ其処ヘ来テ貰ヒタイト言ヒマシタカ」……「ソレ
ハ私ガ名前ヲ知ラナイ日本軍ノ士官デシタ。」

「ソノ人ヲ認メラレマスカ」……「イエエ」

「貴女方ノ中ノ何人位ガ行ク様ニ言ハレマシタカ」……「彼
等ハセ、八人望ミダノデス。私達ハ最初行クコトヲ拒
絶シマシタ、ソコデ彼等ハ脅迫シタノデス。私達ハ若シ誰
カ行クナラ全部行カウト決心シマシタ。彼等ガ倶楽
部ヲ開イタ時彼等ハ使ヲヨコシテ私達ニ来ルヤウニ言

行方前ニ皆ニテ掠奪サレテ斗マタ

「何シテ食糧ヲ受ケマシタカ」

「米ト野菜バカリデス」

「衣類ハ何カ出マシタカ」

「若干ノオランダ人ノ居留民
カニ出タモノダケデシタ」

「何カ医療上ノ考慮ハ持ハシタノデスカ」

「働クコトハ要ホサレマシタカ」

「イ、エ」

「作業隊ハ編
成サレテオカッタイデス」

「個人ノ所有物ハ尊重サレマシタカ」

「サレマセンデシタ」

「彼等ハ見ツテ次第、萬年筆ヤ時
計ヲ掠リマシタ」

「手紙ヲ書イタリ、受ケタリ
スルコトハ許サレマ
シタカ」

「イ、エ」

「日本人ニ敬礼スルコトハ
要ホサレマシタカ」

「イ、エ」

「紀律ハドシテ風ニ強制サレ
マシタカ」

「主ニカ脅迫デ」

「ナグルコトガアリマシタカ」

「婦人ノ顔モ可成リナク
マシタ」

「酷イ叩キ方デシタカ」

「ハイ、全ク酷ク打チマシタ、
兩頬ニ」

「何カ怪我ハアリマセンデシタカ」

「二人ノ婦人カ齒ヲニ

良イコトヲサモナクバ餓死シテシマフカラ投降スルコトニ決メ
 タルテス。私達ハ部落迄行ツタテス。部落民ハ私達ニ更
 ニ殺ラカノ米ヲ呉シマシタ。ソレテ私達ハ翌日ムントクニ行ク
 コトニ決メマシタ。此ノ部落ハ三四哩海岸カラ奥ニ入ツテ
 居リ、ムントクハ四哩奥ノモウツノ部落クタクムテス。私
 達ガ、ムントクヘ行ク途中一人ノ日本ノ海軍士官ト一人
 ノ日本ノ兵隊ヲ乗セタ車ガ私達ヲ見ツケテ、ピストルヲ向
 ケテ私達ヲ調べ車ニ乗ル柁ニ命ジテ司令部ヘ連シテ行
 キマシタ。其処ノ隊長ハ私ガドリ位シニガポールニ乗タカ、何
 時私達ガシニガポールヲ立ツタカ、船トウナツタカ、バンカ
 島ニ乗テドリ位ニナルカ、誰ガムントクヘ来ル柁ニ言ツタカト
 言フ柁ニ復向ラシマシタ

「日本軍ノ降服迄パレンバンニ乗タリテスカ、」
 「イ、エ、私達ハ收容所ハ五ツ六ツ変リマシタ。私達ハ最初ノ
 パレンバンテハ家ノ中ニ乗タテス。各家ニハ二十人乃至三十
 人居リ自炊シタルテス。」

NO. 12.
 クツパイヂ氏「ソノ家ニ何カ家具トカ寝具トカアリ
 マシタカ」
 「イ、エ、家具トカ寝具トカハ私達ガ

撃ノ百ニ吹キ飛ニタノデス。彼ノ言ニヨレバ彼ハ戦友ガ
 彼ノ為ニコシクヘテ呉トタ擔架ニ乗セラレテ斗タノデスガ
 日本兵ガ彼ヲ其處ニ碇ニナツテキル儘銃劍ヲ突
 キ刺シタノデス。

「彼ハ貴女方ノ處カラ連レテ行カレタ一團ニ入ッテ斗ナカッ
 タノデスネ。レールハイ、彼ハ連レテ行カレマセシテ。日
 本兵ハ彼ヲ後ニ残シタノデス」

「ソレテ彼等ハ擔架ニ碇ルル彼ヲ銃劍ヲ突キ刺シタノデス
 ネ。レールハイ、私ハ彼ノ為ニ出来ルタケノ事ヲレテヤリマシタ。
 彼ハ全ク歩キ廻ルコトガ出来ナカッタノデス。ソコテ私ハ前ニ
 行ツタコトノアル部落ニ、モウ一度行クコトニ決メマシタ。私ハ
 其處ヘ引返シテ行ツタノデス。女達ハ私ニ若干ノ米、臭ハ
 インアップル等ヲ呉レ、私ハソレヲソノ英人ト分ケ合ツタノ
 デス」。

「ソレガ何日ダツタカ分ラナイノデスネ。レールハイ、キングスレールハ
 私ガ何日デセウト尋ネマシタラ水曜日ダト私ニ言ヒマシタ。
 射撃手ハ月曜日ニ起ツタノデスガ、此ノ日ハ水曜日ダツタテ
 ス。食物ヲ攝ツテカラハ、キングスレールハ休息モシタノデ
 少シ元氣ゾキ始メマシタ。其處テ私達ハ投降スルノガ一番

ムニトクニ着イテマシタラス。

「貴女ハ意識ヲ失ヒマセンアラスネ。」

「波ハ私ヲ波打際ニ押し戻シマシタ。私ハ其處ニ十分

間程横たッテオマシタ。オスルト萬分静マシタと思ハレタラス。

私ハ起キテ坐ッテ見廻シマシタ。人影ハ一ツトモアリマセン。

ソコデ私ハ立ち上リ、ジヤンクルノ中ニ行キ、橋ニナリ、二日

間眠ツタリ、無意識ニナツタリニテオマシタ。私ハ大部分ハ醒ツ

テオタマヘラス。ト云フハ私ハ時折目ガサメタノヲ覺エテオル

カラデス。」

「貴女ノ傷ハ痛ミマシタカ。」ト時々痛ミマシタガ酷クテ

動ケナイ程デアハナツタヘラス。此ノ日ハ水曜日デシタ。

ソノ水曜日ニ私ハ水ヲ飲ミニ出テ来タヘラス。ソレテ途中

一人ノ英人ガ私ニ掛ケマシタ。

「其處ニ水ガアツト言ハルヘラスネ。」ト云フハ、私ガ駈手タシタ

處カラ十二碼程離レタ所ニ海辺ノ近クニニツノ清水ノ泉

カアリマシタ。キングスレーー ト云フ名ノ英兵ガヤツテ来

テ私ハ彼ト一緒ニツタヘラス。彼ハ胸ノ真中ヲ銃剣ヲ突キ

刺サレテ居リ又沢山ノ榴散弾ヲ負傷シテオマシタ上博

部ガ吹キ飛ニテオマシタガソレハ土曜日ノ夜ノ船ノ砲

「銃火ハ此ノ二人ノ日本人ヲ来タノデスカ。ソレトモ他ノ者カラデスカ。」「他カラデス。ソノ人達ハカレコレニ十碼乃至三十碼離レタ木ノ下ニ立ツテ斗タノデス。」

「彼等ノ中ノ何人位テスカ。」「機銃ハタツタ一挺デタ。彼等ハ列ニツテ斗ルヲ。全ク縦横ニ掃射シタノデス。ソレテ女達ハ次々ニ倒レタ。私ハ列ノ端ノ方ニ斗マタ。ソレテ一弾ガ私ノ左腰ニ当リ。貫通シテ前方ニ飛出シマタ。彈丸ハ私ヲ水中ニ打テ倒レ私ハ水中ニ横ニナツテ斗タノデス。私ハ意識ハ失ヒマセシテタ」

「貴女ハ水ハ腰迄アツタト言ハレマシタネ。」
「ハイ。併シ波ガ私ヲ後へ押し返シタノデス。ドナラカト言ハバ荒カッタノデス」

「貴女ノ仲官テ何人位婦人が斗タノデスカ。」「私ヲ入レテ二十三人斗マシタ。看護婦ニ二人ニ地方人が一人デス」
「彼等ハ他ノ婦人ヤ子供ハ何ウシタノデスカ。」「彼等ハ他ノ婦人ヤ子供ハ其儘通り過ギ。ソウレテ自分等ガ帰ルマデ待ツテ斗ルヤウニ言ヒ残シテ行ツタ。併シ婦人達ハ待テ疲ヒ。歩キ躓ケテ日本軍ノ一團ガ追ヒツク迄ニ」

ソレカラ彼等ハ帰ッテ来テ私達ノ正面ニ腰ヲ下シ銃ヲ銃
 剣ヲ掃除シマシタ。二人ノ男ガ逃ゲマシタ、ソレハ米人、
 エリック・ジーマン氏ト英海軍ノ下士官ロイド氏
 デス。

「日本人ガ向フニ行ッテキル間ニ何か銃声ガ聞エマシタカ……」
 「ソノ方面カラ銃ツカノ銃声ガ聞エマシタ。」

「彼等ガ帰ッテ来タ時、ソノ銃剣ガトナニナツテキタカ
 御氣付ニナリマセンデシタカ……」
 「イエ、彼等ハ銃剣ヲ
 ホロ片ヤ手拭デ拭ッテキタノデス。」

「何、位置遠クニ男達ハ連レテ行カシタノデスカ……」
 「ロロ碼」
 「何か叫ビ声ガ聞エマシタカ……」
 「イエ」

「銃声ハ何發デシタカ……」
 「銃声ハ續ケ棉ダツタノデス、
 數ハマセデシタ。ソレカラ彼等ハ帰ッテ来テ私達ノ正面
 ニ坐リ銃ト銃剣ハ掃除ガ終ルト立上リ、指揮官ガ私
 達ニ海ノ方へ行ケト言ツタヤウデシタガ更ニ私達ヲ海ノ方ニ押
 シタル棉ニ二人ノ日本人ヲヨコシマシタ」

私達ハ海ノ方へ行ッテ水ノ中ヲ歩キ續ケテ腰マデハイツタ時
 ニ、彼等ハ私達ヲ機銃デ縦横ニ掃射シ始メタノデス。」

ハ身体ニ合セテ仕立テタモノ、ヤウデシク。

「彼ハ何カ徽章ヲ附ケテマシタカ」……「彼ハ刀ヲ持ツテマシタ、後ニテテ私達ハ刀ヲ持ツテナル者ハ將校ト言フトガ分ツタノデス。」

「彼等ノ名前ハ分ラナイノデスネ」……「分リマセン」

「日本軍ノ何部隊カモ分ラナイノデスネ」……「分リマセン、唯彼等ハバンカニ到着シタ最初ノ部隊ニ属シテマシタ、ダケハ分ツテマシタ、彼等ハ前日ノ朝到着シタバカリダツタノデス、ト言フノハ私達ノ残りノ人達ハ以テ来テ来ソノデスガ、ソレハ現ニ日本人ガ上陸スル前ニ到着シテマシタカ、ラテス。」

「日本人ハセツゲマンノ言ニ耳モ務サナカッタト言ハルマエタネ、」……「ハイ」

「何ニテ風ニ」……「日本人ハ彼ヲ押退ケタノデス」

「ソレカラ、何ウナリマシタカ」……「彼等ハ男ノ半分ヲ海岸沿ヒニ岬ノ後方一ロ口碼ノ所テ連シテ行キマシタ、男達ノ内ノ二十五人位デシタデセウ、ソレカラ彼等ハ帰ツテ来テ男達ノ残りノ人達ヲ同ジ方向ニ連シテ行キマシタ、日本人達ハ五分間乃至ハ十分間位向フニ行ツテマシタト思ヒマス」

「翌朝ハドウナクテスカ。」
 翌朝セツヂマン氏ハ
 日本人ニ来テモラッテ一團ヲ集メテ連レテ行ッテモラウ為
 ニムントクヘ行キマシタ。彼ガ出カケテカラ、婦人、毒ヲミテ斗
 タ。アトロシノドラモンドハ地方人ノ婦人ヤ子供ハ、シヤンケル
 道ヲソウ沢山歩カナイヤウニ出テ多ク方ガ良イアセウト提議
 シマシタ。彼等六、テイ、ト云フ支那人ノ医師ガキマシタガ、日
 本人ハ彼ヲ追跡シ、後ニ彼ハ自殺シマシタ。朝、十時頃、セツ
 ジマン氏ハ約二十人カラ成ル日本人ノ一團ト一緒ニ帰ッテ
 来マシタ。彼等ハ男ヲ女カラ分ケテニ群ニシマシタ。船ノ士官
 セツヂマン氏ハ日本人達ニ私達ハ俘虏トシテ投降ス
 ルダト言ヒマシタガ日本人ハ彼ノ言フコトニハ耳モ藉サナ
 カッタノデス。

閣下「ソノ日本人達ハドシナ服装ヲシテ斗マシタカ。」
 皆
 栗馬甲ノヨウナカーキ色ノシマツトズボンヲツケテ、正面
 ニ星ノツイタ小サナ帽子ヲ被リ、皆銃剣ヲ着ケタ銃ヲ持
 ツテ斗マシタ。小サナ武器ヲ持ッテ斗ルハ見カケマセンデシ
 タ。指揮官ハホンノ小サナ奴デ他ノ者ニ較ベルト非常ニ、キ
 チントコザッパリシタ服装ヲシテ斗マシタ。彼ガ着テ斗タ服ハ

「貴女方が行ッテ部落ノ名ヲ御存ジテスカ。……」知リマセン。併シソノ部落ハ海岸カラ四哩程奥ヘ入ッテ所ニアリマシタ。形勢ハ海岸デ全團ニ救ヘラレテオマシタ。

「誰ガ皆ニ形勢ヲ教ヘタノデスカ。……」船ノ士官セツデマン氏デス。彼ハ形勢ヲ説明シテ日本人ガ島ニオクル下、逃ゲ道ノ無イコト、島ニ食物ガナイコト、投降スルヨリ外ニ道ハナイコト等説明シテクレマシタ。皆ハ之ニ賛成シマシタ。ソノ夜、沖デ砲撃ガアリマシタ。ソシテ二時間後一隻ノ救命艇ガ英砲兵軍團ノ英人約二十名ヲ乗セテ到着シマシタ。

「ソノ一團トハ連絡ヲトツタノデスカ。……」ハイ。

「ソノ一團ノ中ノ誰カノ名前ヲ御存ジテスカ。……」彼等ノ中ノ一人ノ名前、キングスレーヲ知ツテオマス。彼等ハ形勢ヲ聞カサレ、島デ何が起ツタカラ聞カサレマシタガ彼等モ翌朝投降スルガ一番ヨイト同意シマシタ。

クツパイヂ氏「ソノボートハ何人乗リテスカ。……」二十人乃至二十五人位デス。

「皆ンナデハ何人位海岸ニオタテスカ。……」此ノ時迄ニ男女、子供ヲ入レテ大凡一〇〇人位オタテセウ。

「ソノ時誰カ怪我ヲシタシスターガオマレタカ」ハイ怪我ヲシタシスターガ三人オマレタシスター・ニウス、シスター・ワイト、ソレニシスター・サルモンデス」

「大凡何人位ホートニ乗ツタノデセウカ」シスターガ大凡十二人モオタデセウカソレニ他ニ三人ト船ノ士官ガ一人乗ツテオマレタ一人ガ

「他ノ三人トハ誰デスカ」二人ノ地方人ノ婦人トソノ中ソ一人ノ夫ガ乗ツテオタノデス一人ハミンガポールノ教育部ノビーストニ嬢名タノデス」

「ナ二人ノシスタート二人ノ地方人ノ婦人ト一人ノ男、ソレニ船ノ士官ガオタ譯デスネ」ソウデス」

「ソレテトウナリマカ」私達ハ十時半頃陸ニ着キマレタ、ソレテ海岸沿ヒニニ哩程行クト火ガツケテアリマレタ、ソノ火ハ前ニ来タホートガツケテオタノデス、私達ハ救ヒヲホメニ其処ヘ行キ、シスター連ヲ火ノ所ヘ連れて行ク為メデレタ、ソレテ結局ヒ真夜中頃ニ私達全部ガ火ノ処ニ着イタノデス、其処ニ居ル間ニウイナリ・ブルック號ノオ三番目ノホートガ地方人ノ婦人連ト数名ノシスターヲ連れて到着シマレタ」

「閣下ソノ数名ノシスターノ名前ヲ御存ジデスカ」ハイ、アルマーナー、ズアーウエザー、ハリガン、スチニアート、ソレニキーツデス」

5007

ソレカラドツシマシタカレ、私達ハ火ノ側テ夜ヲ過シ、翌朝助ケヲボメルコトニ決メマシタ。ソコデ一團ノ男ノ人達ガ一ツノ燈台ノ方ニ行キ、オニノ燈台ニオニノ一團が行ツタノデス。ソレヲオニノ一團ハ約四人ノ地方人ノ婦人トホノシタ。ト一人ノ船ノ士官デ編成サレ情報ヲ得ル爲、更ニ救ヒヲボル爲ニ奥地ノ部落ノ方ヘ行ツタノデス。貴女ハ奥地ヘ行ツタ一團ト一緒ダツタノデスカレ、ソウデス。私ハ奥地ヘ行ツタノデス。

ソノ一團ノ人々ノ名前ヲ舉ゲルコトガ出来マスカレ、大部分舉ゲルコトガ出来マス、船ノ士官デアツタ。セツヂマン氏ハリガン看護婦、フリツヂ看護婦、カー看護婦、テート看護婦、ハリス看護婦、私、ロツシー嬢、ハツチンス夫人、ラケトン・ウィリアムス夫人等ガオタノデス。私達が其處ニ居ル時ニハ土民ノ女達ハ私達ニ飲物ヲ呉レマシタガ土民ノ男達ハ食物トカ衣類トカ言フヤウナモノデ持ツテ行ケルヤウナモノハ何も私達ニヤラナイヨウニ土民ノ女達ニサセタノデス。私達ハ海岸ヘ降りマシタ。一團ハ燈台カラ帰ツテ来マシタガ、モウ一ツノ一團ハ後デ分ツタノデスが捕虜ニナツテオタノデス。

No. 4

行為が行ハレタカ、何カ御存ジデスカ。……「知りマセン」

「二月十二日六何事が起リマシタカ。……」二月十二日私達ハ五時頃ヴィナー・ブルック號ニ乗リ込ミ出港致シマシタ」

「何處へ行クノカ御存ジデシタカ。……」「イイエ私達ハバタビヤニ行クノカモ知レナイト聞カサレマシタ」

「海上ニ斗タノハ長カッタノデスカ。……」私達ハ金曜日ハ

一日中航海シ土曜日朝二時十五分過頃飛行機ガ三機頭上ニ現レマシタ」

「ソレハ二月十四日ノコトデスカ。……」ソウデス。ソレニテ飛

行機ガ船ヲ機銃掃射シ爆撃シ船ハ沈ミ始メタノデス」

「ソノ時ニ貴女方ハ何處ニ斗マシタカ。……」「バンカ海峡ヲ陸

地カラ約十哩離レテ斗マシタ。私達ハ金テノ地方人が

先ヅ下船スルノダト言ハレ私達ハ命令ヲ待ツヤウニ言ハ

レマシタ。地方人が先キニ行クコトニナリ、マトロン（記者註

監督者ノ地位）ドラモンドカ私達ニ行クヤウニ言ヒマシタ。

ソノ時船ノ此場所ニ約十二人ノエスター（註・カトリック

教徒婦人）ガ斗マシタ。私達ハ下船シマシタ。船ノ横

ニ沈ミカ、ツタ救命艇ガ一隻アリマシタ。私達ハソレニ乗

ツタノデス」

5007

SISTER VIVIAN BULLWINKEL

宣誓ヲ為シタル上

クーパーイナ氏「貴女ノ名前ハ」……「*Vivian Bullwinkel*」

「貴女ノ階級ハ」……「中尉」

「ソレテ貴女ノ番號ハ」VFX六一三三「ロト思ヒマスガ」……

「ソウ」

「ソレテ貴女ノ部隊ハ」2/3 A.G. H 「デスカ」……「ソウ」

「濠洲ヲ出登シタハ何時」……「一九四一年九月二日」

「此處カラ何處ヘ行ツタ」……「シンガポール」

「シンガポールニハ何ノ位」……「私ハシンガポールニハ約

一ヶ月居リマシ」

「其處カラ何處ヘ行ツタ」……「私ハソレカラ」

「バルニ行キ其處ニ十一月カラ一九四二年一月二十五日頃迄

居リ、ソレカラシンガポール島ニ歸リマシ」

「其處ニトノ位」……「一月二十五日カラ二月十二日

迄」

「ソレテ何が起ツタ」……「二月十日ニ私達ハ」

「貴女ガ」……「シンガポールニ」

「フルツク號ニ乗船スル為」……「波止場ニ送ラレタ」

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

「何カ戦争犯罪或ハ殘虐

No. 1

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NO. 5007 IS ONE OF THOSE
ASSIGNED A NUMBER FROM THE BLOCK OF NUMBERS GIVEN

TO 1st Col Monane WHO OBTAINED THIS DOCUMENT

FROM: Legal Section

THE ORIGINAL DOCUMENT TO THE BEST OF OUR KNOWLEDGE IS:

returned to source

M. P. ...
FILES UNIT
Document Division